

(全 3 枚)

立命館大学

2022 年度一般選抜入学試験における出題ミスについて

標記につきまして、2022 年 2 月 7 日（月）に実施いたしました、「立命館大学の一般選抜入学試験、『選択科目』の『生物』」におきまして、出題ミスがありました。

内容および対応について、以下の通りお知らせしますとともに、受験生ならびに関係者各位に深くお詫
び申し上げます。

記

1. 試験日 2022 年 2 月 7 日（月）
2. 対象入試方式 学部個別配点方式 理科 1 科目型：映像学部、総合心理学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部
学部個別配点方式 理科 2 科目型：理工学部、生命科学部、薬学部
3. 対象学部 映像学部映像学科、総合心理学部総合心理学科、理工学部数理科学科、理工学部環境都市工学科、理工学部建築都市デザイン学科、情報理工学部情報理工学科、生命科学部応用化学科、生命科学部生物工学科、生命科学部生命情報学科、生命科学部生命医科学科、薬学部薬学科、薬学部創薬科学科
4. 合格発表日 理工学部、情報理工学部、生命科学部、薬学部：2022 年 2 月 19 日（土）
映像学部、総合心理学部：2022 年 2 月 20 日（日）
5. 内容および対応
科目名：選択科目「生物」
受験者数：300 名
該当箇所：大問 I〔1〕の問題文の 1 行目と 3 行目の用語に誤記があった。
（誤）終始コドン → （正）終止コドン
別紙 ご参照
対 応：大問 I〔1〕（3 点）を全員正解とする。
6. 原因と判明経緯
問題作成・校正時の点検が不十分であったことによるものです。試験実施後に本学での点検のミスが判明しました。

7. 受験生への周知方法について

立命館大学入試情報サイトの「お知らせ」に掲載いたします。

8. 再発防止対策および大学のコメント

本学では、入学試験問題の作成にあたり、各科目における二重、三重の点検を行う組織的な体制をとってきました。今回の事態はこのような点検体制が十分に機能しなかったことから、今一度、点検体制のあり方を見直して再発防止策を検討し、具体化してまいります。

以 上

【本件お問い合わせ先】

立命館大学広報課(担当：立岩・曾谷)

電話：075-813-8300

- 〔1〕 実験1でXS遺伝子の開始コドンから終始コドンまでの mRNA に対応する 681 塩基対 (bp) を増幅させるために 2 つの DNA プライマー F と R を用いる。XS 遺伝子の 5' 側の開始コドン周辺と 3' 側の終始コドン周辺の DNA 塩基配列、およびプライマー F の 5' 末端側の 6 つの DNA 塩基配列を図 2 に示した。このときのプライマー R の 5' 末端側の 6 つの DNA 塩基配列を解答用紙の空欄に記入せよ。なお各プライマーには制限酵素で切断する目的で 8 塩基付加されているが、これは考慮に入れなくてよい。

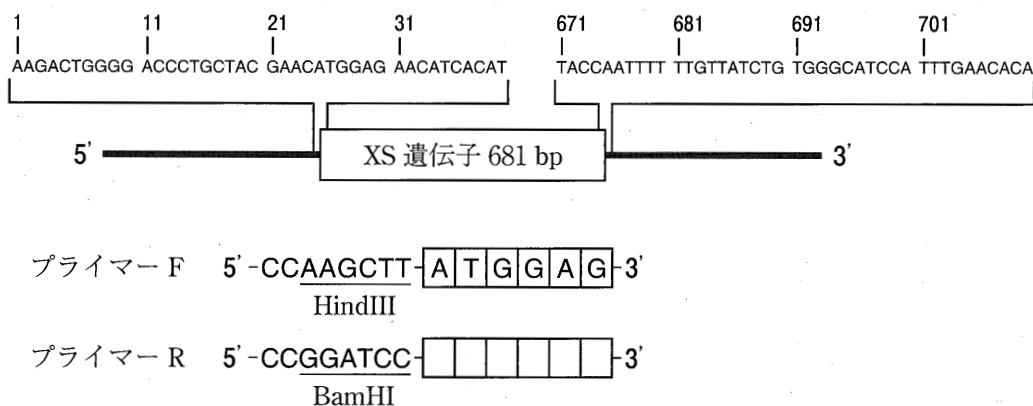


図 2

- 〔2〕 実験2において使用した 7000 塩基対 (bp) の環状プラスミドベクターを図 3 に示した。この HindIII および BamHI 部位に実験1の DNA 断片を挿入した。DNA 断片が正しく挿入されているか否かを調べるために、得られたプラスミドを 2 つの制限酵素 HindIII および BamHI, あるいは 1 つの制限酵素 XbaI でそれぞれ切断し、電気泳動を行った。それぞれの泳動パターンを図 4 および図 5 の各レーン①～⑥から 1 つずつ選び、解答用紙にマークせよ。ただし XS 遺伝子内には HindIII, BamHI, および XbaI の認識配列はないものとする。